

みて！みて！きて！ ミニ情報



明けましておめでとうございます。
今年もごみ減量、よろしくお願いいたします。

『地球環境の保全・リサイクル社会の構築』

これは11月7日に視察研修に行った県中古車リサイクルセンターのパンフレットのタイトルである。

このセンターの設立のきっかけの一つに冬季オリンピックを迎えるにあたり、使用済み廃自動車の野積みの問題があったと言う。確かにその様な光景があちこちにあったと記憶している。便利に使われていた物でも古くなれば使用済みの廃棄物となる。この処理に当たっては法律で販売事業者の責任と定められていることから、会社販売が組合員となり、このリサイクルセンターが出来た。中古車を解体、分別する一連の工程の説明を聞き、とても興味深いものだった。

エンジン・タイヤ・ホイールなど殆どの部品は再利用される。半分にカットされた車体はそのまま輸出してもいるとの事。残されたボディはプレスされ原材料に戻り全てリサイクルされるのだろう。

資源のリサイクル化は車もプラスチック製品・生活用品もすべて同様だと思った。

これからは製品を作る側も、私達消費する側も「地球環境の保全」と言うビックタイトルを掲げれば、自ずとやらなければならない事が見えてくる。

ごみ減量アドバイザーとして8カ月…、たくさん勉強させて頂いた感想である。たくさん学んだ事、これからは、地域に良い情報としていかに伝えていくかがアドバイザーとしての役割だと思う。



★環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

◎古着の回収

1月11日（金）午前10時から正午

時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

回収する物は、どなたかが着れる状態の衣類で、破れたり、汚れがあったりするのは回収できません。お持ち帰り頂く場合もあります。

時間内に持参してください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

発行者 「エコ・サポート21」
天神3丁目11番31号
電話 23-5144

平成31年1月号

1	火	休館日
2	水	休館日
3	木	休館日
4	金	休館日
5	土	休館日
6	日	休館日
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	古着回収日
12	土	休館日
13	日	休館日
14	月	休館日（成人の日）
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	休館日
20	日	休館日
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	休館日
27	日	休館日
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

良い経験になった二つの行事

アドバイザーとしての活動をはじめて八カ月、この間に印象に残る行事が幾つかありました。

ひとつは、八月の「こどもごみ探検隊」です。七月に担当地区の小学校へ行き、校長・教頭先生に会い、直接趣旨の説明をさせて頂き、協力をお願いしました。

当日、八月二日の小学生の参加は二十名ほどでした。その子ども達は、礼儀正しくて活発利発な感じの子が多く、最後の別れ際には「いつか又どこかで会おうね。」と声を掛け合って別れていったのが微笑ましく、とても良い感じでした。

絵が上手な子が数人いて、すいか・くわがた等サッサッと描くので驚かされました。

この行事で小学生の内から「ごみ減量」に関心を持つのは大切なことだと思いましたが、猛暑の為「中古自動車リサイクルセンター見学」が中止になったのは残念でした。

二つ目は、十月の「うえだ環境フェア」でした。来館者は午前中特に多く、十時の開場前に列ができていたので驚きました。

私は「綿混入古布、十七品目」を担当、来場者の中に友人知人が何人かいたので声を掛けてごみ減量ブースに来て話を聞いてもらいました。また、八月の「こどもごみ探検隊」に参加したお子さんのお母さんが、子供たちがその時に書いた模造紙の展示の前で立ち止まり、嬉しそうに「これ、うちの子が書きました。」と言ったので少しお話をし、当日の子供たちの様子など説明しました。

今年度三月まで、まだまだ活動する事が多々あると思っています。このような活動、経験を通して自分自身も学ぶことも多く、また、学んだ事を地域の多くの方に伝えていかなければと思いました。

体験コーナー

★空き缶のリサイクル

★牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できる 生ごみ減量法をアドバイスいたします。



- ★ 今、ごみ減量の為、エコ・ハウスでは「ぱっくん」を多くの方に使って頂いています、燃えるごみの中から少しでも生ごみが減ることを願い、土の無い中央地域の世帯に、もっと「ぱっくん」を使って頂きたいと思えます。
焼却炉延命の為にも、ぜひご協力を頂きたいです。わずかなスペース！、段ボールがあれば簡単！
そこで、「ぱっくん」について、ぜひ、正しい使い方をして頂きたいと思えます。
 - ・段ボールを使う事
 - ・生ごみは水切りをして、少し細かくして入れる。
 - ・通気性の良いところと、日当たりの良いところに置く。(ふたは通気性の良い風呂敷等虫が入らない様しっかりかけて置く。)
 - ・目安として、3～4人家族の場合、3カ月位、また1～2人家族の場合は、半年から1年位まで使えると思えます。色々な状況があると思いますが、使い終わりの目安が『アンモニア臭』が出た時が使い終わりです。それまで、大切に出来るだけ長く使って頂きたいと思えます。
- ★不明な点、いつでもご連絡ください。

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 9-11-31 TEL.23-5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>